



平成 27 年 9 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 甲 山 文 成
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 鈴 木 啓 治
管 理 本 部 長
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

平成 27 年 7 月期連結業績予想数値と実績値および個別前期実績値と当期実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 6 月 10 日に公表した、平成 27 年 7 月期（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）における通期の連結業績予想数値と、本日公表の連結実績数値および個別前期実績値と当期実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異について

平成 27 年 7 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	△ 320	△ 315	△ 1,350	△ 292.46
当期実績値(B)	7,524	△ 455	△ 415	△ 1,452	△ 314.62
増減額(B-A)	24	△ 135	△ 100	△ 102	
増減率(%)	0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 7 月期)	7,334	36	42	29	6.49

差異の理由

売上高は前回予想時の想定通りに推移し、計画を上回りました。

一方、損益面においては、当連結累計年度末時点において金相場が下落基調にあり、当社が保有している棚卸資産について評価減を行うなど、前回予想時に比べ売上原価が増加いたしました。

またフィリピンセグメントにおいて、第 3 四半期連結累計期間以降、めっき工程で歩留りの低下が生じており、第 4 四半期累計期間においても改善に至らなかったことにより、売上原価が増加いたしました。

その結果、営業利益、経常利益、当期純利益が業績予想を下回りました。

2. 通期個別業績実績値と前期実績値との差異について

平成 27 年 7 月期通期個別業績実績数値と前期実績値との差異（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A)	4,411	53	170	186	40.46
当期実績値(B)	4,325	△ 352	△ 227	△ 1,319	△285.75
増減額(B-A)	△85	△ 405	△ 398	△ 1,505	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	

差異の理由

当事業年度は、厳しさを増す顧客の単価引き下げ要求に対して、工程改善等の原価改善活動を進めると共に、好調な部品需要に対応すべく、積極的な受注活動を行いました。価格下落等の市場環境悪化を補うには至りませんでした。

また、当事業年度末時点で金相場が下落基調にあり、保有している棚卸資産について評価減を行いました。

更に第 2 四半期において、山王電子（無錫）有限公司において減損損失等を計上した結果、当社の保有する山王電子（無錫）有限公司に対する出資金の実質価額が著しく下落したため、当該出資金について、帳簿価額を実質価額まで減額し、関係会社出資金評価損 1,070 百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、売上高は前期実績から大きな乖離は無かったものの、営業利益、経常利益、当期純利益は前期実績を下回りました。

以上